

平成18年度
第1回・団体連絡会議事次第

記

1. 日 時: 平成18年6月23日(金) 14:00～17:00
2. 場 所: (社)日本建材・住宅設備産業協会 A・B会議室
3. 議 題
- (1)挨拶
- 1) 富田育男 建産協専務理事 14:00～14:05
- 2) 荒木由季子 経済産業省 製造産業局 住宅産業窯業建材課長 14:05～14:25
- (2)講演
- 1) 新 JIS 制度の最近の動き
(財)建材試験センター(中央試験所 品質性能部長 黒木勝一氏) 14:25～14:50
- (財)日本建築総合試験所(製品認証センター 工業標準部 部長 西 仁氏) 14:50～15:15
- (質疑応答) 15:15～15:35
- 2) 環境に対する評価システム - ISOの動向 -
(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 助教授 清家 剛氏) 15:35～16:15
(質疑応答込み)
- (3)団体会員からのご報告 16:15～16:35
- (4)建産協からの報告他 16:35～16:55
- ・建産協の新メンバー紹介
 - ・KISSの状況報告
 - ・省エネルギー住宅のファクト(情報)シート作成
 - ・平成18年度 3R推進委員会活動について
 - ・
- (5)その他 16:55～17:00

団体連絡会開催報告

(社)日本建材・住宅設備産業協会

平成18年6月23日(金)当協会において団体連絡会が開催され、建産協団体正会員及び賛助会員団体より計40団体(44名)が出席した。

まず、経済産業省製造産業局 住宅産業課長 荒木由季子氏から「住宅・建材関連産業の政策の方向性」と題して課題とそれに対する経済産業省の取り組み、及び施策目標等について説明がなされた。



次に今回の団体連絡会のメインテーマ「新JIS制度の最近の動向」について登録認証機関である(財)建材試験センター 中央試験所 品質性能部長 黒木勝一氏と(財)日本建築総合試験所 製品認証センター 工業標準部長 西仁氏より、説明をしていただいた。それぞれの登録認証機関から新JISマーク取得については一部課題はあるものの、旧JIS品の猶予期限は2008年9月までであり、新JIS品へ切り替える際は、登録認証機関へ早めの個別相談をする必要があるとのアドバイスを受けた。

更に、東京大学大学院 新領域創成科学研究科 助教授 清家剛氏より、環境に対する評価システムについてのISOの動向について説明があった。

今回の団体連絡会議は業界において横断的かつ重要な課題である新JIS制度やISOの動向に絞った内容で行なわれ、限られた時間ではあったが、有意義な意見交換・質疑応答がなされた。

当協会には現在、団体正会員50、団体賛助会員20が所属し、その傘下企業及び関連企業は、非常に多くの数となる。今後も、この場を団体相互並びに、傘下企業及び関連企業へのアナウンスの場として会員の皆様には積極的にご活用いただきたい。

主な議題及び資料は次の通り。

【経済産業省関連】

- ・住宅・建材関連産業の政策の方向性

【新JIS制度関連】

- ・(財)建材試験センター 新JIS制度に関する資料
- ・(財)日本建築総合試験所 新JIS制度に関する資料
- ・日本サッシ協会の新JIS制度に関するQ&A集

【環境に対する評価システムについて関連】

- ・ISO/DIS21930 建築製品の環境宣言

【団体関連】

- ・団体会員情報

【建産協関連】

- ・建産協会長就任挨拶・景観協代表就任挨拶
- ・建材産業情報化事業(KISS)について
- ・「省エネルギー住宅ファクトシート」のお知らせ
- ・平成18年度3R推進委員会事業活動計画について
- ・セミナー等の情報